

日本統合医療学会 熊本県支部学術講演会

◆日本医師会生涯教育講座3単位◆取得カリキュラムコード83:相補・代替医療(漢方医療を含む)

開催日時: 2017年11月4日(土) 14:50~18:10

開催会場: ネストホテル 2階 「あそ」
熊本市中央区辛島町4-39 tel 096-312-1616

参加費: 500円(研修医・医学部学生の方は無料)

14:50【開会挨拶】: 熊本県支部 支部長 赤木 純児 先生

【特別講演】15:00 <座長> むらかみ内科クリニック 院長 村上 和憲 先生

『“健康寿命延伸”に貢献する最先端の健康外来』 ～未病を見える化したマーナ(mRNA)健康増進外来～

講師 愛知医科大学病院
先制・統合医療包括センター 教授 福沢 嘉孝 先生

【特別講演】16:00 <座長> 内藤病院 副院長 林田 繁 先生

『Break a checkpoint & Build a future of cancer Immunotherapy』

講師 国立がん研究センター 先端医療開発センター
免疫療法開発分野 分野長/
中央病院 先端医療科 医長 吉村 清 先生

【特別講演】17:10 <座長> 玉名地域保健医療センター 院長 赤木 純児 先生

『固型腫瘍に普遍的なEPR効果と腫瘍細胞特異性を用いる インテリジェントナノメディシンP-THPを中心に』

講師 一般財団法人バイオダイナミクス研究所理事長/研究所長
熊本大学名誉教授(医学)
大阪大学大学院医学系 招聘教授 前田 浩 先生

<閉会のあいさつ>

18:10 熊本県支部 副支部長 林田 繁 先生

【共催】日本統合医療学会熊本県支部・(株)リンフォテック

【後援】熊本県医師会・玉名郡市医師会

◇参加ご希望の方は裏面の参加申し込みをFAXいただくかメールでお申し込み下さい◇

【特別講演講師 福沢嘉孝 先生のご紹介】

『戦略的予防医学』の第一人者:福沢嘉孝 教授・医学博士.

愛知医科大学大学院医学研究科 (戦略的先制統合医療・健康強化推進学) 教授

■ 愛知医科大学病院:先制・統合医療包括センター (AMPIMEC) 教授兼センター部長 (肝胆膵内科兼務)

■ ミュンヘン大学 (LMU) 医学部・客員教授 ■ 河南中医薬大学 (HUTCM) 医学部・客員教授

【主な学会活動・国際交流】■ 日本先端医療臨床応用学会 (JSCF): 副理事長 ■ 日本健康促進医学会 (JSHPM): 副理事長 ■ 臨床ゲノム医療学会 (SOCGM): 副理事長 ■ 日本統合医療学会 (IMJ): 愛知県支部長、100人委員会委員、ガイドライン委員会委員 ■ 世界中医薬学会・連合会 (WFCMS): 理事 ■ 日本アロマセラピー学会 (JSA): 理事

【主な医師会・行政活動】■ 愛知県医師会: 代議員・勤務医部会幹事 ■ 愛知医科大学医師会: 理事

【主な社会貢献】■ 『主治医が見つかる診療所』(TV東京), 『中居正広の金曜日のスマたちへ』(TBS), 『ガンの専門家100人への取材』(日本TV), 『川島なお美さん特集:肝内胆管癌』(TV朝日), その他; 東海TV, CBC等, マスメディアにも多数出演

【主な著書】■ 『先端治療技術の実用化と開発戦略(核酸医薬, 免疫療法, 遺伝子治療, 細胞医薬品)』(技術情報協会, 2017年4月28日発刊) ■ 『こわい病気にかからない生活習慣』(KADOKAWA, 2016)

■ 『遺伝子治療・診断の最先端技術と新しい医薬品・診断薬の開発』(技術情報協会, 2014)

■ 『臨床ゲノム診断の基礎と応用』(臨床ゲノム医療学会, 2010) ■ 『内科専門医研修カリキュラム』(日本内科学会, 2011, 2017) ■ 『消化器専門医研修カリキュラム』(日本消化器病学会, 2013)

【特別講演講師 吉村 清 先生のご紹介】

国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫療法開発分野分野長
コロラド大学客員教授

1993年山口大学医学部を卒業後、山口大学第2外科(現消化器・腫瘍外科)に入局し、消化器および乳腺外科に従事。関連病院を経て同大学院に入学し、がん免疫遺伝子治療の開発により医学博士取得。

Jhons Hopkins大学Drew Pardoll博士・Richard Schlick博士の元でポスドクとして研究に従事し、その後 Assistant Professorとして独立後帰国し山口大学を経て現職。これまでに遺伝子改変リステリアによる免疫療法の開発や抗PD-1・PD-L1との併用抗体療法の開発、PD-L2標的療法、GVAXとの複合療法、臓器特異的免疫療法、癌幹細胞標的免疫療法、免疫学的ヒト化マウスを用いた腫瘍免疫モデルなどの開発に従事。

【特別講演講師 前田 浩 先生のご紹介】

1938年兵庫県生まれ。東北大学農学部卒、カリフォルニア大学大学院(MS)修了(フルブライト大学院生)、東北大学医学部細菌学講座大学院修了、同講座助手、米ハーバード大学がん研究所(ダナ・ファーバー癌研究所)主任研究員などを経て、1971年、熊本大学医学部微生物学講座助教授。81年、同教授。2005年退官、同大学名誉教授。崇城大学薬学部教授・同DDS研究所教授/特任教授を歴任。1995年より財団法人バイオダイナミクス研究所代表を主宰。現在、実用化されているDDS(ドラッグデリバリーシステム)のもとになる高分子制癌剤スマクスを発明(1979年)、高分子薬の腫瘍集積メカニズムのEPR効果を1986年に発見された。この高分子薬の腫瘍集積メカニズム(EPR効果)はCancer Research誌の全論文(9万7千報)中トップ3に入っているように、広く世界に知られている。日本細菌学会浅川賞、高松宮癌研究学術賞、米CRS学会賞、日本DDS学会永井賞、日本癌学会吉田富三賞ほか多数の受賞歴があり、去る4月、米ミンガン州立ウェイン州立大学より、薬学分野のレイキー賞を受賞されました。また、米情報調査会社トムソン・ロイター社より、化学部門の論文のベスト3として表彰され、2016年ノーベル化学賞の有力候補として選出されました。現在も、EPR効果を利用することで抗がん剤の効果を高め、患者さんにより負担の少ないがん治療の実現に取り組まれています。特筆すべきこととして、スマクスにより治癒した患者さんの推薦により、サンアントニオ市名誉市長やオクラホマ州名誉州民に選ばれています。

日本統合医療学会 熊本県支部 学術講演会 参加申し込み

➤ 参加のお申込は下記へメールまたはFAXでお願いします。

送付先 玉名地域保健医療センター FAX: 0968-73-4919

施設名/TEL

ご芳名

* メールでの参加申込みは、higuruma@tamana-medical.comへお願いいたします。

本講演会における個人情報、講演会等運営以外の用途には一切使用いたしません。
あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。